2．積立金の明細

（単位：円）

区　　分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘　　要
通則法第44条第1項積立金	603,307,980	899,407,543	1,502,715,523	0	当期積立額　899,407,543 国庫納付金　1,497,815,354 前中期目標期間繰越積立金　4,900,169
前中期目標期間繰越積立金	0	4,900,169	3,565,077	1,335,092	積立金からの振替額　4,900,169 前中期目標期間繰越積立金取崩額　3,565,077
合　　計	603,307,980	904,307,712	1,506,280,600	1,335,092	

3．目的積立金等の取崩しの明細

（単位：円）

区　　分	金　　額	摘　　要
前中期目標期間繰越積立金取崩額	3,565,077	棚卸資産、前払費用の費用化
合　　計	3,565,077	

4．運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

⑴　運営費交付金債務の増減の明細

（単位：円）

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	小　　計	
20年度	0	9,399,381,000	9,041,277,884	54,843,684	0	9,096,121,568	303,259,432
合　　計	0	9,399,381,000	9,041,277,884	54,843,684	0	9,096,121,568	303,259,432

⑵　運営費交付金債務の当期振替額の明細

①20年度交付分

（単位：円）

区　　分		金　　額	内　　訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	0	（業務達成基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	6,509,348,000	①当該基準を採用した業務等：退職手当を除く人件費については、期間的に費用と予算が対応関係にあるため、相当額（6,509,348,000）を収益化している。 ②当該業務等に係る損益等 経常費用の人件費（役員報酬、給与手当、法定福利費）(6,285,293,598）のうち、業務費の一部（非常勤職員分（199,710,278）及び受託調査に携わった常勤職員分（1,957,426））を控除した額（6,083,625,894） ③損益計算〔(6,509,348,000）－（6,083,625,894）＝（425,722,106)〕
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	6,509,348,000	